



△
主
な
内
容
▽

- ▼ 年頭のごあいさつ
- ▼ 県出先事務所、県企業局が優秀技術者を表彰
- ▼ 現場見学会・インターンシップを行いました
- ▼ いばらき建設フォトコンテストの入賞者決定

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局



一般社団法人 茨城県建設業協会
会長 石津 健光

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、当協会の事業運営につきまして、特段のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



さて、昨年を振り返りますと、東京オリンピック・パラリンピックという世界的祭典が開催される年として輝かしいスタートを切りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発出され、外出自粛要請や休業要請が行われるとともに、新しい生活様式が提唱され、テレワークやオンライン会議が推進されるなど、社会経済システムや生活スタイルの大きな転換を求められた1年となりました。

建設業界もその対応に追われましたが、特に、社会基盤整備事業については、緊急事態宣言下においても、社会の安定維持の観点から継続が求められる事業とされたことから、感染防止対策に万全を期し、災害復旧工事をはじめ公共工事に継続して取り組むことが要請されました。

一方、昨年末には、業界あげて継続を要望していた国土強靱化対策が「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として閣議決定され、激甚化する風水害や切迫する大規模地震への対策について、15兆円の事業規模で集中的に講じられることとなりました。

一昨年10月の久慈川・那珂川の氾濫による甚大な浸水被害は記憶に新しいところですが、自然災害は、近年、頻発化、甚大化しておりますので、引き続き、国土強靱化対策事業の円滑な実施に向けて協力するとともに、私どもが担っている災害対応など、「地域の守り手」としての取り組みの更なる強化に努めてまいりたいと考えております。

建設業界は、少子高齢化が急速に進む中、現場の技能労働者の高齢化や若手入職者の確保難といった構造的な課題に直面しており、当協会としても、若い担い手を確保するための働き方改革や生産性向上のためのICT活用に取り組むとともに、協会内に女性部会「建女ひばり会」を立ち上げ、女性活躍の推進にも取り組んでいるところでございます。

特に、働き方改革につきましては、一昨年6月から県内公共工事の一斉休工期設定の取り組みを開始しておりますが、この4月からは、毎月第1・第2・第4土曜日の月3回に拡大することとしましたので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

地域の基幹産業として、次代を担う人材の確保・育成に不可欠な「働き方改革」等に取り組み、新しい3K「給与がよくて、休みが取れ、希望が持てる」業界になるための努力を積み重ね、「地域の守り手」という社会的使命を継続して果たして行かなければならないと考えておりますので、皆様方の、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員各位の更なるご発展とご多幸を心からご祈念致しまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

茨城県知事

大井川和彦

自らの力で未来を切り拓く新しい茨城づくり

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

本県は、先人たちのたゆみない努力により、様々なビックプロジェクトを成し遂げ、目覚ましい発展を遂げてまいりました。しかし、急速に進む少子高齢化や人口減少、社会経済のグローバル化に加え、新型コロナウイルス感染症の流行により、将来の予測が困難な時代を迎え、これまでの社会情勢や人々の価値観が劇的に変化する中、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に適応した、新しい社会づくりが求



められております。

県といたしましては、こうした時代の変化に的確に対応し、自らの力で未来を切り拓ける新しい茨城づくりを進めていくため、デジタル社会の構築や力強い産業の創出、次世代を担う人財の育成など、未来への投資につながる施策に積極的に取り組むとともに、その基盤として経済活動を支える、広域的な幹線道路などの広域交通ネットワークの充実に努めてまいります。

また、老朽化する公共施設の更新や歩道のバリアフリー化など県民が安全快適に暮らせる生活環境の整備を進めるとともに、近年激甚化・頻発化している自然災害から県民の安全安心な生活を守るため、災害に強い県土づくりにも引き続き積極的に取り組んでまいります。

今後とも、県政の発展に、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人 全国建設業協会

会長 奥村太加典

令和3年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、年明けから世界的に猛威を振った新型コロナウイルス感染症により、わが国の景気は急激に落ち込み、建設業においても民間建設需要の低迷など厳しい影響を受けました。感染の拡大が収束する兆しは未だ見えませんが、落ち込んだ景気を早急に回復させるためには、感染拡大の防止や医療体制の充実に加え、日本経済全体の活性化や強靱な国土づくりに資する公共投資を機動的に推進し、内需の創出とそれによる雇用拡大を図ることが不可欠です。

さらには、昨年も令和2年7月豪雨や台風9号・10号などの大規模災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。わが国の脆弱な国土における防災・危機管理体制の強化と社会資本整備の重要性は更に高まっており、政府による「防災・減災や国土強靱化のための緊急対策」は、今後も人々が安全に安心して暮らしていける持続可能な社会づくりのための予算として、将来的なビジョンを念頭に計画的かつ安定



的に確保されることが必要です。

一方、このコロナ禍は、わが国の社会や経済のあり方にも変化をもたらしました。大都市圏への過度な集中による様々な弊害が顕在化し、地方分散型社会への転換について、その必要性が改めて説かれています。地方への移住・定着を進めるには、テレワークの推進だけでは十分とは言えず、地場産業の育成とともに、安心して豊かな暮らしを営むために必要な生活基盤の整備が欠かせません。

私ども地域建設業は、人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としての役割に加え、ポスト・コロナの新たな時代においては、いわば「新しい地域の創り手」としての役割も務めていかなければならないと考えております。これらの社会的使命を果たしていくため、引き続き、中長期的な視点から社会資本整備の着実な推進を政府や関係機関などへ広く訴えていくとともに、経営基盤の強化や、担い手の確保・育成、生産性向上、働き方改革など、克服すべき諸課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

潮来土木事務所長表彰

森戸泰彦（常総・高正特定JV）
 根本健二（小若建設株）
 軍司勝利（根本・鹿島ガーデン特定JV）
 石津松吾（石津産業株）
 武藤克己（株郡司建設）
 坂本享（株大地）
 吉野敏明（幸武建設株）
 櫻井修（株田崎技術）
 小沼克夫（株根本工務店）
 菅谷厚（株菅谷建設）

竜ヶ崎工事事務所長表彰

星研治（大竹建設株）
 山崎卓（桂建設株）
 吉田茂生（櫻井建設工業株）
 齋藤昭広（増川建設株）
 山口由高（株伊藤建設）
 夏友勤（キムラ工業株）
 成塚法義（栗山工業株）
 秋田義弘（大昭建設株）
 富田文芸（常磐建設株）
 小野康照（日高見建設工業株）
 谷頭英昭（福智建設工業株）
 最上寛（細谷建設工業株）
 井坂幸雄（松浦建設株）
 杉山富計（松野建設株）
 赤池美之（天海建設株）
 明地義治（増川建設株）

土浦土木事務所長表彰**[本所]**

矢野弘之（株富晃）
 齋藤久雄（株霞工業）
 齊藤誠（株齊藤建設）
 平川裕一（佐々木建設株）
 嶋田龍樹（ヤシマ建設株）
 木内実（市村土建株）
 園部信夫（白田組土木株）
 長谷川敏久（株長谷川工務店）
 鈴木茂則（株巽興業）
 山田裕一（株大和田建設）
 塚越幸雄（東亜工業株）
 上野徳則（株ムラノ）
 小盛積（株新みらい）

[支所]

宇都野洋（株折本工業）
 小森昌佳（星田建設工業株）

筑西土木事務所長表彰

柴伴男（株柴建設）
 飯田人士（株川田建材工業）
 工藤裕（大和土建株）
 菅家政博（株仲川建設）
 武石真澄（大内建設株）
 白田諭（白田工建株）
 小貫高幸（小貫建設株）
 増山裕一（株ワイエスケイ）
 高橋正人（株北島土建材）
 片田昇吾（株小葉建設）
 田崎健（中嶋産業株）
 皆川侑正（株仁平工務店）

常総工事事務所長表彰**[優良主任（監理）技術者]**

廣瀬登（石塚産業株）
 霜田裕也（高塚建設工業株）
 藤沼久（ライナー建設株）
 塚田学（塚田建材株）
 磯亮（株磯建）
 菊池忠男（株菊池土建）
 渡邊三郎（新井土木株）
 会田康之（石塚産業株）
 川田智也（株飯野工業）

[優良主任技術者感謝状]

安達勝明（株菊池土建）
 猪瀬定男（株大木組）

茨城港湾事務所長表彰**[日立港区]**

豊田政則（株高村電設工業）
 小林昭（小林建設株）

[常陸那珂港区]

伊藤真一（株岡部工務店）
 関次夫（株鶴田組）
 西野栄治（横信建材工業株）
 鈴木貴志（株秋山工務店）
 鈴木忠助（株龍崎工務店）

[大洗港区]

五位潤智（菅原・田口特定JV）

塚本克哉（常総・田口特定JV）

流域下水道事務所長表彰

橋本将一（橋本建設株）
 飯島壮一（佐々木建設株）

県央農林事務所長表彰

宇井勇夫（平和建設株）
 田山博文（株大貫工務店）
 藤田光男（株鯉淵工業）
 栗田正美（株横田建設）

鹿行農林事務所長表彰

飯島寛興（飯島建設株）
 茂木秀敏（水郷建設株）
 内野勝美（株大地）
 齋藤保男（株根崎工務店）
 高橋岩男（株飛田工務店）
 須田信一（株茂木工務店）
 森内美枝子（株森内建設）

県南農林事務所長表彰

真家孝一（市村土建株）
 飯田公康（谷原建設株）
 山口真一（オオシン株）

稲敷土地改良事務所長表彰

中島勇（栗山工業株）
 中島茂（大竹重機建設株）
 吉田要司（株サンヨウ建設）
 内藤功（増川建設株）

企業局長表彰

川田智之（飯田建設興業有）

企業局水道事務所長表彰

出澤茂之（株大地）
 小沼正夫（株郡司建設）
 小野康照（日高見建設工業株）
 倉川正義（誠殖産工業株）
 下野征之（株田口工務店）
 成島正幸（株齊藤建設）

多くの学生が建設業を体験

現場見学会・ インターンシップ

本会は令和2年度も、学生による建設現場見学会とインターンシップ（建設現場実習）を昨年8月から12月にかけて行いました。活動は新型コロナウイルス感染症予防対策として検温や社会的距離の確保、マスク着用などを行って実施。

現場見学会は高校6校から286名、専門学校1校から78名の合計364名が参加。

インターンシップは会員企業延べ61社が高校3校の50名、専門学校2校の128名の合計178名を受け入れ、建設業を体験してもらいました。

現場見学会やインターンシップは、若年層の入職を促進するために県内の工業・農業高校生、専門学校生、大学生などを対象に実施。参加した多くの学生から「建設業への理解が深まった」との声が寄せられています。



現場見学会で施設を説明



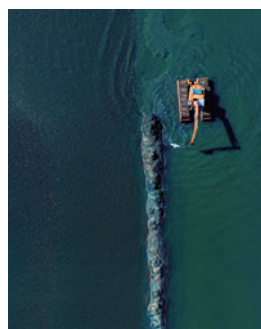
インターンシップで現場工事を紹介

優れた作品を表彰 ～いばらき建設フォトコンテスト～

本会の建設未来協議会は「いばらき建設フォトコンテスト2020」の入賞作品を決定しました。全国から663点の応募があり、最優秀賞は「建設のある茨城の風景」部門では西中拓史さんの「鳥と重機」、「人と建設のつながり」部門では塚田澄子さんの「小さな現場監督」が受賞しました。

いばらき建設フォトコンテストでは、建物、道路、橋、港湾、トンネル、ダムなど人の暮らしを支え、街をつくる「建設」のある風景を募集。

「建設のある茨城の風景」部門は撮影地を県内に限り、茨城の風景に溶け込む地域インフラ、建設現場などの重要性、スケール感などをとらえたものがテーマ。「人と建設のつながり」部門は、現場で働く人や地域の人々とインフラのつながりをテーマとしました。



「建設のある茨城の風景」部門
最優秀賞「鳥と重機」



「人と建設のつながり」部門
最優秀賞「小さな現場監督」

入賞として最優秀賞2作品、特選8作品、準特選2作品、U22特別賞2作品、入選30作品を選定しました。

上位の入賞作品はイベントや公共施設への展示、ホームページやSNSなどで配信します。また本会の令和3年のカレンダーに採用しています。

水戸支部
活動報告若手技術者が
研修

水戸支部（下田德行支部長）は昨年12月4日、茨城県水戸土木事務所（皆川和彦所長）との若手技術者合同研修会を水戸合同庁舎で開催。「受発注者間情報共有システム（ASPサービス）」やICT技術活用について理解を深めました。意見交換も活発に行い、受発注者相互の意思疎通を図りました。

太田支部
活動報告I C T
技術研修会

太田支部（瀬谷實支部長）は昨年12月9日、ICT機器の実践体験を行う「はじめての一步体験会」を開催し、3次元設計データの作成やICT機器を使用した測量・施工を体験しました。レーザースキャナとUAVの比較や3次元設計データの作成などの実務を研修。ICT機器「杭ナビ」を使用した測量・施工も行いました。

鉾田支部
活動報告安全衛生大会で
無事故確認

鉾田支部（羽生義隆支部長）は昨年12月18日、安全衛生大会を支部会館で開催。交通安全や労働災害防止、安全衛生に関する認識を更に深めました。羽生支部長は「普段の生活から安全意識を持ち続けることで工事現場にもスムーズに安全意識の移行ができるのではと考えている。これからも皆さまと協力し労働災害防止活動を推進していきたいと思う」とあいさつしました。

福祉施設へ寄付金

建設未来協 鹿行地区会



本会の建設未来協議会は昨年12月7日、社会福祉法人照桑福祉会の児童養護施設るんびにー（行方市芹沢、戸田見成理事長）に寄付金とタオルを寄贈しました。本会からは羽生義隆鉾田支部長が出席し、「体験学習などさまざまなイベントが中止となり、これに代わり寄贈することとしました。子どもたちの生活に役立てば嬉しい」とあいさつ。戸田大我施設長がお礼を述べました。

国土強靱化5か年加速化対策が決定

15兆円規模、重点的・集中的に実施

政府による「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が決定されました。令和3年度から7年度までの5年間で123対策に重点的・集中的に取り組みます。対策初年度の事業費は2年度第3次補正予算で措置しています。

追加で必要な事業規模は、財政投融资や民間事業者等で想定される事業も含めて15兆円程度。老朽化対策や国土強靱化の施策を効率的に進めるためのデジタル技術の活用等も対象としています。

重点的・集中的に取り組む主な対策は次のとおりです。

【激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策＝12・3兆円程度】

◆流域治水対策＝河川、下水道、砂防、海岸、農業水利施設の整備、国有地を活用した遊水

地・貯留施設の整備加速、港湾の津波対策

◆医療施設、社会福祉施設の耐災害性強化対策

◆高規格道路のミッシングリンク解消および4車線化

【予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策＝2・7兆円程度】

◆河川管理施設、道路、港湾、鉄道、空港の老朽化対策

◆農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策

◆公立小中学校、国立大学施設の老朽化対策

【国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進＝0・2兆円程度】

◆連携型インフラデータプラットフォーム構築

◆無人化施工技術の安全性・生産性向上対策

◆河川、砂防、海岸分野における防災情報などの高度化対策

2級経理士検定合格へ

受験対策講座



本会は、独自の建設業経理士検定試験（2級）の受験対策講座を昨年12月11日から水戸市青柳町の茨城県建設技術研修センターで開催しています。講座は2月18日までの4日間。講座では経理事務士3級の知識を基礎に建設業の簿記、原価計算、会社会計を習得してもらいます。2級の検定試験は3月14日（日）に行われます。

会員の動向

〈住所変更〉

▽常総支部

旭建設工業(株) 下妻市鎌庭1677→

下妻市鎌庭1335-1

ちよつと一言



本年もよろしくお願いいたします。

年が改まっても新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。一日も早い終息を願うとともに、対策を十分に行って本年の事業を進めていきたいものです。業界がさらに発展する年にしていきたいでしょう。(K)